

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		簡易水道整備事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政 策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり				所属部	水道局	課長名	久留 伸二
	施 策	6	計画的な土地利用の推進				所属課	上下水道課	担当者名	西本 尚弘
	基本事業	16	快適な住環境の整備				所属班	管理工務班	(内線)	1197
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	地方公営企業法、水道法、合志市水道事業給水条例		
		90	21	1	1	水道会計		成果優先度評価結果 7		
								コスト削減優先度評価結果 -		
終了、開始年度		☐ 21年度で終了 ☐ 22年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度 昭37 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	簡易水道の配水管・配水施設等整備事業。 平成9年度から水道を計画的に整備し清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、公衆衛生の向上と生活環境の改善のために事業開始時から行っている。 水道使用者数(給水件数)は平成18年3月31日現在(18, 155件)から平成20年3月31日現在(19, 155件)までの5年間で1, 000件増加して年々増加傾向にあり、それに伴い配水施設も増加している。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	簡易水道の配水管・配水施設等整備の設計事務、業者選定、契約事務、現場監督、竣工検査。 簡易水道の配水管の修繕に伴う修繕依頼、監督、修繕費積算、請求。
【主な予算費目】	・建設改良費(営業設備費)工事請負費、委託料。
【意見や要望】	特に聞いていない。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
竹迫地区簡易水道事業変更認可申請	竹迫第6水源さく井工事
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ ア 簡易水道の配水施設数	箇所 イ 簡易水道の配水管布設工事延長 m
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
簡易水道配水管及び配水施設。 簡易水道使用者。	⇒ ア 簡易水道使用者数 人 イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
簡易水道配水管及び配水施設を計画的に布設・設置出来る。 安全で良質な水道水を安定的に供給出来る。	⇒ ア 水質、水圧に関する苦情件数及びその比率 件 イ
* ⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 簡易水道の配水管・配水施設等の整備を行うことにより、豊富低廉な水の供給及び公衆衛生の向上と生活環境の改善が図られるため	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込	
④ 活動指標	ア	箇所	4	4	4	4	4	4	4	
	イ	m	1654	92	1500	478	0	0	1500	
⑤ 対象指標	ア	人	5424		5427	5427	5427	5427	5427	
	イ									
⑥ 成果指標	ア	件	5	7	6	6	6	6	6	
	イ									
投入量	事業費	財源内訳								
		国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	52,584	1,369	10,000	7,450	40,000	40,000	100,000
		繰入金	千円				7,138			
	人件費	一般財源	千円							
		(A) 事業費計	千円	52,584	1,369	10,000	14,588	40,000	40,000	100,000
		(A)のうち指定経費	千円							
		(A)のうち時間外、特勤	千円							
		正規職員従事人数	人	5	7	4	4	5	5	5
		延べ業務時間	時間	850	450	500	374	1,000	1,000	1,000
(B)人件費計		千円	3,375	1,800	1,990	1,489	3,980	3,980	3,980	
トータルコスト(A)+(B)		千円	55,959	3,169	11,990	16,077	43,980	43,980	103,980	

総トータルコスト
全体計画
～ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

0
0
0

合志市

事務事業名	簡易水道整備事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	☒ 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 工事の発注見通しが出来ており、工事の期間も余裕を持って完了できるため。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 普及率がほぼ100%に近い数値に達しているため、これ以上の向上余地はないと思われる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 上水道との連携
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事業費は工事請負費、委託料であり、可能な限り集約して競争入札により発注を行いコスト削減を図っている。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事業費は工事請負費、委託料であり、可能な限り集約して競争入札により発注を行いコスト削減を図っている。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 配水管を整備するすべての水道使用者に受益機会があるため公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 簡易水道整備事業において清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、公衆衛生の向上と生活環境の改善は行政が行う事業である。 そのため役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成28年度に簡易水道事業を上水道事業へ統合するため、施設等の改良が必要となるため、補助事業を活用し計画的に工事を進めていかななくてはならない。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

☐ 廃止

☐ 休止

☐ 目的再設定

☒ 事業統廃合・連携

☐ 事業のやり方改善(有効性改善)

☐ 事業のやり方改善(効率性改善)

☐ 事業のやり方改善(公平性改善)

☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			○
	維持			
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策